

推進プラン見直しの経緯・要点・スケジュール

(1) 見直しの経緯

千代田区は、日本の政治、経済、文化の中心地であるとともに、自然環境や景観についても特筆すべき価値を持っています。これまで千代田区では、2013（平成 25）年に都内でもいち早く生物多様性地域戦略「ちよだ生物多様性推進プラン」（以下、「推進プラン」とする）を策定し、先進的に取組みを進めてきました。“皇居から広がる生きものネットワーク”の実現をめざした多様な主体が協働する取組みによって、緑地の整備、自然環境や生きものの実態把握、区民の啓発促進などいくつもの成果が得られています。

その一方で、国内外では依然として生物多様性の損失が進み、地球温暖化による影響が顕在化するなど、生物多様性によって支えられてきた私たちの暮らしや経済活動は、その存続が危ぶまれています。今こそ、地球規模で考え、区民一人一人が地域で直ちに行動に移すような抜本的な社会変革が求められています。

千代田区は、推進プランの短期目標年次である 2020（令和 2）年を迎え、その短期目標の達成状況を把握するとともに、策定以降の生物多様性に関する国内外の状況変化・社会情勢を踏まえながら、長期目標年次の 2050 年に向けて、推進プランの内容について必要な見直し・改善を行います。

(2) 見直しの要点

- ・ 推進プラン策定以降の国内外動向にも沿った内容とします。
- ・ 現行プランによる区の実績や、多様な主体による取組実績を評価し、課題を明らかにします。
- ・ これまでの取組実績や課題を踏まえ、今後の取組みの方向性を示します。

(3) スケジュール (案)

